

令和7年度 学校関係者評価報告書

III 教育目標・計画

- 日本医師会認定医療秘書養成機関として、良好な医療体制を構成するチーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担う医療秘書を育成する。
- 教育環境に常に気をくばり対応するとともに、社会・医療関係者の意見をより多く取り入れる。
- 学院生便覧(学則・細則・教育課程・教務規程・学生の心得等のさまざまな規程)を理解させ教育を行う
- 教職員は、学生の伴奏者であることを自覚し、学生個々の将来を見据えた教育を行う。

教育目標・計画に対する評価・意見

・各項目の自己評価、課題、改善策すべて概ね適切です。
 ・医療現場においては、医療DXの導入やAIの活用が急速に進むものと思われる。医療秘書にも対応が求められるので、医療現場の動きを常に意識した上で、求められる人材を輩出することができるよう、学院においても時代の要請にあった教育目標等の見直しを行い、継続して教育内容の改善を図る努力が必要である。
 ・教育目標・計画は明確に示されており、医療現場のニーズや社会の要請を踏まえた内容となっている。特に、チーム医療の一員として、必要な知識・技能の習得だけでなく、人間性や対人対応力の育成にも配慮されている点は評価できる。

IV 評価項目の達成及び取組状況について

	学校関係者評価委員の評価			自己評価・課題・改善策についての意見
	自己評価の結果が適切か	課題が適切か	改善策が適切か	
	適切…4 やや適切…3 ほぼ不適切…2 不適切…1			
1. 教育理念	4	4	4	・日頃から気持ちの良い挨拶ができており、コミュニケーションに力を入れて教育を行っているのがよくわかります。 ・コミュニケーションって、生きていく上で一番大切だと思います。自分の意見を言える子たちが増えてほしいと思います。 ・課題の「コミュニケーション」に対する改善策が乏しいように感じた。既に授業や研修等で取り組んでいると思われるが、内容や頻度等について検討されてはどうか。 ・「特記事項」に『笑顔と信頼をつなぐ医療の窓口』として』とあるが、教育理念の「人の悩みのわかる人間愛に根ざした奉仕の精神を兼ね備えた人材」を端的に表していると思う。基礎となる学生の能力の向上についても考慮が必要だと思う。
2. 学校運営	4	3	3	・自己評価の低い「人事、給与に関する規定等の整備」及び「教務・財務等の組織整備など意識決定システムの整備」に関する改善策が示されていない。組織として取り組む課題であり難しいと思うが、学校運営の根幹となる内容であるため、検討されたい。 ・自己評価での「規定等の整備」や「システムの整備」が低いことは問題である。至急改善されるべきことであるが、「課題」や「改善策」には記述がないのは、自己評価において「運営」の視点が欠けているのではないか。学校運営は安定しており、各種規定や体制が適切に整備されている。 ・情報共有や意思決定も円滑に行われており、全体として適切な運営がなされている。 ・HP等を使用して、適切に情報公開されていると感じます。
3. 教育活動 ①目標の設定等	4	4	4	・「改善策」の後段は、「課題」に対応したものになっていない。「課題」に対して今後どう改善していくかが記載されるべきではないか。社会のニーズに合った人材の養成には、ニーズそのものの把握が必要であり、学校としての努力に期待する。 ・専門的な知識だけでなく、人格的にも非常に優れた学生が多いと感じます。
3. 教育活動 ②教育方法・評価等	4	4	4	・昨年度も記載したが、「特記事項」で、「実習」が「病院アルバイト」と同義とされていることに違和感を感じる。実習は教育の一つであり、いわゆるアルバイトとは切り離して考えられるべきではないか。 「課題」や「改善策」が「就職」という結果に偏り過ぎている。「②教育方法・評価等」と合っていない(特に「カリキュラム」)のこの記載がないのはおかしいと思う。)と感じる。 ・実習やアルバイトを通じて、医療機関で働くイメージを在学時から理解できているので、入職後のズレが少ないように感じます。
3. 教育活動 ③資格試験	4	4	4	・採用する側の立場だと、在学時に情報処理やワープロの1級を取得している学生を優先して採用したい。実務能力も資格の取得レベルに比例していると感じる。 ・日本医師会医療秘書認定試験の合格率は全国下位であり、試験への取組について見直されたい。一方、全国医師会医療秘書連絡協議会の医療保険請求実技試験は1年生が受験する中、合格率は全国中位であったことは評価できる。そのほか、多くの資格試験に挑戦しており、継続して取り組まされたい。 ・「課題」には、他校と比較して合格率が低かった場合の「原因分析」が入るべきではないか。「原因」側からではなく、改善は困難だと思う。
3. 教育活動 ④教職員	4	4	3	・自己評価において、教職員に対する研修や資質向上のための取組に関する評価が著しく低いため、さらなる改善策を検討されたい。なお、県医師会が主催するセミナー(静岡県医療クラークを育てる会)には引き続き参画いただきたい。 ・教職員の資質向上の面で自己評価が低いのは気になる。教職員のレベルアップは、学院の向上につながると思う。
4. 学習成果	4	4	4	・評価項目の「就職率の向上」、「資格取得率の向上」、「退学率の低減」についての状況(推移)が分からないため評価ができない。 ・「改善策」については、今後の「改善策」が記載されるべきではないか。 ・就職や資格において、一定の成果が見られ、教育の効果が現れている。
5. 学生支援	4	4	4	・学生と医療機関との間に立ち、スムーズに連携が図られていると感じます。 ・保護者との連携にも力を入れるべきではないか。
6. 教育環境	4	4	4	・「改善策」が対応した結果でしかない。今後の「改善策」を記載していただきたい。DXに対応した環境についての記載がないが、十分な対応が出来ているのか不安がある。 ・意欲の高い学生を輩出している。非常にきれいにメンテナンスされている。
7. 学生の受入れ募集	4	4	4	・学生募集については、全国的に苦戦する中、本学は非常に健闘されていると思う。これも学院の努力の賜物であり、引き続き頑張ってもらいたい。 ・少子化の中、非常に努力されていると感じる。結果が伴っており、教職員の皆さんの努力に敬意を表します。
8. 財務	4	4	4	・「6教育環境」で施設の老朽化等の記述があったが、財務での「課題」には記載がないことに矛盾を感じる。学院として今後どうしていくかということ「課題」として考えるべきではないか。
9. 法令等の遵守	4	4	4	・個人情報の保護は重要であり、厳密な管理がなされるよう、至急の改善が必要である。意識が低すぎるように思う。また、サイバーセキュリティ対策を行うことが必要である。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果についての意見

・厳しい情勢の中、非常に努力して運営されている。医療事務の仕事は日本中どこでも必要とされる仕事であり、なり手不足の今だからこそ卒業生がより良い条件で就職できていることを伝えていきたい。ここ数年でも、求人の月給はかなり上がっている。待遇改善の余地はあるので、入学者にとっては、いい時期だと思う。
 ・社会の動きを踏まえ、医療機関の求める医療秘書像について考える必要があると思う。
 また、卒業生に対するフォローとしてのリスクリングの機会を設けることも、継続的な学校運営を行っていく上で、検討すべきではないかと思う。
 教職員の方々がそれぞれの課題意識と、改善目標をもって、努力されることを期待します。
 ・次年度からは意見するにあたって必要な情報(教員数、生徒数、就職率、資格取得率、退学率の推移等)も提供いただきたい。
 ・全体として、教育目標や計画に基づいた取組みが適切に実施しており、一定の成果が認められる。今後も地域と学校が連携し、生徒がより学習しやすい環境づくりに努めていただくことを期待する。
 ・子ども達が安心して通えるような建物だとありがたいです。そのためには、まずたくさん入学者が欲しいですね。多くの資格が取得できるのは、この学校のうりだと思えます。